

台風対応型のソーラーパネル!?

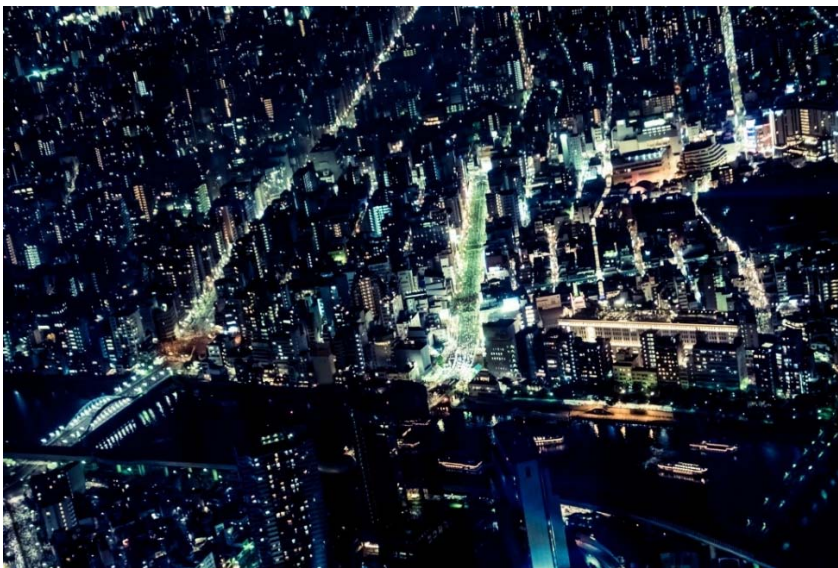
1.はじめに

かつて日本国民の生活を劇的に変化させた冷蔵庫、洗濯機、白黒テレビの三種の神器。あれから約 70 年の時が経った現代ではパソコンやスマートフォンが生活必需品となり、急激な速度で機械化を果たしながらもお進化し続けている。その中心となる電気は今や私達と切っても切れぬ縁で結ばれる存在となっている。そんな電気がなくなった場合のことを考えたことがあるだろうか？2018 年 10 月 1 日愛知県豊橋市では台風 24 号の影響により約 10 万戸の家が停電に見舞われ、復旧まで 2 日要した。電気が止まったことにより、「冷蔵庫が動かず、生ものがやばい」「湿気が多いけどエアコンがつかないからじめつとする」「スマホの充電ができない」など地元民から生の声を聞いた。たった 2 日でも電気が使えないだけで私達の生活は非常に困難を極めることが分かった。そんな状況に対応するために私達が注目したのがソーラーパネルである。

2.ソーラーパネルの活用

ソーラーパネルは太陽光を電気に変えて使えるようにするという地球環境に配慮したものである。自家発電が可能であり、エネルギーを最大限貯蓄したら自家で使用することもでき、節約にも繋がる。なので非常用に電気を貯蓄していると停電時にも対応可能であると考えられる。主に屋根の上に設置しているイメージが強いが、その場合だと台風で吹き飛ばされてしまう可能性が危惧される。なので屋根と屋根の間にサンドイッチする形を取ると良いのではないかとこの考えに至った。パネルの外側の窓は透明のガラス張りして、内側は分厚い天井張りになると太陽光を遮断しない且つ部屋に熱を伝えないようにすることができる。

他にもソーラーパネルを効率よく活用するために日照時間の長い高層ビルの壁や窓に導入したり、電気自動車のボンネットに導入することもできる。



3. 最後に

前述したとおり電気は私達の生活には必要不可欠なものである。災害の停電時、1日でも最低限のライフラインを保てることができたらどれだけ生活が楽になるのか考えたことはあるだろうか。導入の仕方次第でより多くのエネルギーを貯蓄できるソーラーパネルの可能性を引き出すことが今後私達の生活の発展に繋がることは間違いないだろう。